

日本に
原発は
要らない

大阪損保革新懇結成20周年記念イベント第一弾

2018. 2. 16(金) PM6:30~ 日宝道修町ビル308
「アィクル」の隣室

原発のリスクとコストを考える

□「原発の社会的コストを考える」・龍谷大政策学部教授 大島堅一さん

◇「原発リスクと損害保険」・大阪損保革新懇世話人 松浦章さん

一福島原発事故から間もなく7年、いまだ、何も解決していません。廃炉と除染の費用、そして賠償、全体で何十兆に上るかわかりません。これに「もんじゅ」の廃炉も加わります。

安倍政権はそのほぼすべてを消費者・国民に押し付けようとしています。

東京電力は責任を取らず、利益を出しています。関西電力は次々と原発を再稼働しています。

今あらためて、「原発のリスクとコスト」を考え、エネルギー政策の転換を展望します。 一

— 大島 堅一 さん —

(おおしま けんいち) 経済学博士

1992年 一橋大学社会学部卒業

1997年 一橋大学大学院経済学研究科博士課程単位取得

2001年 立命館大学国際関係学部助教授 2008年同教授

2017年 龍谷大学政策学部政策学科教授

専門は 環境経済学、環境政策学、エネルギー利用と環境問題、
再生可能エネルギーの普及政策に力を注いでおられます。

著書：

『再生可能エネルギーの政治経済学』

エネルギー政策のグリーン改革に向けて』

(東洋経済新報社 2010年環境経済・政策学会奨励賞受賞)

『原発のコスト——エネルギー転換への視点』

(岩波新書 2011年、第12回大佛次郎論壇賞受賞)

『原発はやっぱり割に合わない』(東洋経済新報社 2012年)



参加費1000円
引き続き懇親会
参加費1000円
ビール・お酒、
手作りのお料理

